



★今月のテーマは夏の病気に気をつけようです。

梅雨のどんよりとした気分を吹き飛ばすほどの、子どもたちの笑い声が園内に響き渡っています。これから本格的な夏がやって来て、プールも始まります。湿度、温度ともに上昇し、暑さにより子どもたちの体は、大人が思うよりも意外と疲れています。プール活動・水遊びを楽しむためにも、バランスの良い食事、早寝、早起きの習慣づけをよろしくをお願いします。

～気をつけよう！夏にはやる病気～



夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状をあげてみました。気になる症状が見られたら、すぐに病院を受診しましょう。



ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。
特にのどには、水泡や潰瘍ができるため、かなり痛む。
(乳児はミルクが飲めないほど。)



アデノウイルス感染症

高熱とのどの痛みのほか、目の痛み、かゆみ、充血など結膜炎のような症状が出る。



手足口病

手の平や足の裏、口の中に小さな発疹や水泡ができ、熱が出ることも。

★暑い夏を元気にのりきるポイント★

水分補給

皮膚を清潔に

紫外線対策

室温管理

